

令和5年度

上田市立第二中学校の「学校評価」について

本校の学校教育目標と本年度の重点

学校教育目標

敬愛(徳)

自らを見つめ、他を思いやる中学生

窮理(知)

自ら学び、互いに高め合う中学生

実践(体)

自らを鍛え、体を大切にする中学生

目指す生徒像(重点)

敬愛 憧れを抱き、自分を振り返り、共に質の高い集団をつくろうとする生徒

窮理 『問い』が立ち、共に学び合い、自らの考えを深める生徒

実践 よりよい学校生活をつくろうと自分ができることを見つけ取り組む生徒

昨年度の学校自己評価の結果をもとに、上記の重点を設定しました。重点の達成を目指し、全職員が教育活動において取り組んでいきます。

そして「9項目の観点」によって、アンケート（生徒・職員・保護者）を実施し、本年度の重点を検証していきます。

実施内容	学校評価の観点	
【敬愛】について 重点目標 <u>自分を見つめ、願いを高めて集団づくりをしようとする基盤づくり</u>	1	生徒が自分を語り、願いの質が高まる学級づくり・学校づくりを行う。
	2	今の自分を見つめ直し、何ができるかを考え、自ら一步踏み出そうとする気持ちを支える。
	3	<u>上記2項目や一人ひとりに寄り添う心のケアを通して、生徒が「学校が楽しい」と感じる学校にする。</u>
【窮理】について 重点目標 <u>広がりや深まりを自覚できる授業の工夫</u>	4	4視点で授業づくりを行い、深まりが自覚できる授業にする。 ①聞く・受け止める・問いをもつ ②考える・話す(語る)・伝える ③分かり合う ④考えを更新する
	5	I C Tを活用した「学び方の工夫」がある授業づくりをする。
	6	「わかる楽しさ」と「できる喜び」を感じる学習環境を整える。
	7	<u>上記3項目を通して、生徒が「学習ができた、わかった」と感じる学校にする。</u>
【実践】について 重点目標 <u>よりよい学校生活を目指して語り合い、自分に返して行動する力の育成</u>	8	よりよい学校生活が何かを生徒同士が語り合い、自分は「日常生活で何ができるか」を考え、実践できる心を育てる。
	9	自分の将来を見つめ、今できることを積み重ねられる力を育てる。